

R2年度学校経営の推進プラン達成度

R3.2.18

観点	番号	項目	目標値	児童自己評価値	差	全項目平均値
かしこく	1	勉強が楽しい・分かると感じる子	95%	95%	0%	88%
	2	家庭学習を毎日する子	95%	95%	0%	
	3	家で読書をする子	80%	76%	-4%	
	4	家で学校の話をする子	85%	86%	1%	
たくましく	5	進んで外遊びや運動をする子	90%	83%	-7%	91%
	6	早寝・早起き・朝ご飯ができる子	90%	85%	-5%	
	7	自分の仕事や役割を果たすことができる子	90%	95%	5%	
	8	災害等から身を守ることができる子	100%	100%	0%	
やさしく	9	進んで挨拶する子	100%	95%	-5%	95%
	10	学校の決まりを守る子	90%	95%	5%	
	11	友達と仲良くする子	100%	98%	-2%	
	12	将来の夢や目標をもつ子	90%	92%	2%	

*児童評価値は、4段階評価で「そう思う・大体そう思う」という肯定的意見の数値。

◎考察

- ・3観点とも90%前後の自己評価となっており、今年度の目標は概ね達成できたと考えられる。
- ・3観点では、「やさしく」の自己評価が一番高く、「かしこく」の自己評価が一番低かった。

【かしこく】

- ・「家庭で読書」は、本校の課題の一つ。自己評価では、目標値に近い値だった。各学級での朝読書の推進、図書委員会による多読者の紹介、教職員による読み聞かせ等、読書に親しませるための取組の成果が感じられる。家庭での読書習慣が身に付くよう、働き掛けていく。

【たくましく】

- ・災害に対する意識の高さは、計画的、継続的に取り組んでいる防災教育の成果と考えられる。
- ・「進んで運動」が、最も目標値から離れていた。児童に目的意識をもたせ、進んで運動に取り組もうとする意識を高め、体力向上や肥満解消につなげていきたい。
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」については、今後も家庭と連携を図りながら進めていく。

【やさしく】

- ・「進んで挨拶」は、次年度100%を目指したい。地域の方からは「よくできている」という声と、「もう少し頑張してほしい」という両方の声が聞かれる。挨拶の必要性やすばらしさを子供たち自身が実感できるよう工夫しながら指導を進めたい。
- ・「将来の夢や目標」は目標値は超えたものの、「夢や目標をもっていない(意識していない)」というような児童もいた。学習をはじめ、「何事も目標をもって取り組むこと」そして「振り返ることによって自分の成長を実感できる」ような教育活動を展開していく。